



多国籍の英語圏 JET-ALT をご活用ください！

(一財)自治体国際化協会JETプログラム事業部

多国籍からの招致が可能な JET プログラム

JET プログラム全体の参加者の9割以上を占めるALT(外国語指導助手)は、日本の外国語教育の進展に大きく貢献してきました。次期学習指導要領では、高等学校において新たに発信力を高める科目群を設定し、また、中学校においては授業を外国語で行うことを基本としています。さらに、小学校では中学年で外国語活動が導入され、高学年で教科化されます。外国語教育の現場では、ネイティブ・スピーカーであるJET-ALTの活躍が、より一層求められることとなります。

JET プログラムは今年で31年目を迎え、これまで6万人以上のALTを招致してきました。外務省が運営協力にあたることにより、英語圏のJET-ALTは、アメリカ合衆国、英国、オーストラリア連邦、ニュージーランド、カナダ、アイルランド、南アフリカ共和国、シンガポール共和国、ジャマイカ、バルバドス、トリニダード・トバゴ共和国、フィリピン共和国^(注)の12カ国から参加者を招致しており、全国の自治体で活躍しています。



さまざまな国から招致が可能な JET プログラム

JET プログラムの応募者は、それぞれの母国にある日本の在外公館で選考されます。選考は公館職員、JET OB・OG、学識経験者等、日本の事情に詳しい委員が

行い、応募者の意欲や適性、言語指導能力について審査をします。多数の英語圏の国から参加者を招致できるのは、世界最大規模の人的交流プログラムとして発展してきたJETプログラムの非常に大きな強みです。また、世界で共通の審査基準を基にしていることから、どの参加国でも優秀な応募者を招致できるのも大きな特徴といえます。

2017年度(第31期) 英語圏12カ国のJET-ALTの人数	
アメリカ合衆国(1987)	2,800
英国(1987)	395
オーストラリア連邦(1987)	331
ニュージーランド(1987)	225
カナダ(1988)	469
アイルランド(1988)	92
南アフリカ共和国(1997)	105
シンガポール共和国(1999)	59
ジャマイカ(2000)	105
バルバドス(2002)	10
トリニダード・トバゴ共和国(2004)	46
フィリピン共和国(2014)	51
合計	4,688

※()内は招致開始年度

多文化交流を促す JET-ALT

JET-ALTに期待される役割は、外国語指導助手としてネイティブ・スピーカーならではの生きた英語に触れる機会を児童生徒に与えることだけではありません。外国の文化や生活を日本の児童生徒に紹介する国際交流活動という観点からも、JET-ALTは非常に大きな役割を果たします。多様な文化や習慣をもつJET-ALTが外国語の授業に携わることにより、児童生徒が外国語を学ぶ



と同時に異文化への興味・関心を高めることが期待されます。校内の掲示板に JET-ALT 専用のコーナーを作り、母国の文化や自身の育った州・街を紹介する掲示物によって、児童の関心を高める工夫をしている小学校もあります。また、JET 参加者は日本に強い興味を抱いている者が多く、異文化交流に積極的に関わる意欲があります。授業だけではなく、給食や掃除の時間、休み時間を JET-ALT と児童生徒と一緒に過ごすことにより、日本と外国での学校生活の相違点あるいは共通点を児童生徒が知ることもつながります。

JET プログラムでは英語圏 ALT としてさまざまな国からの招致が可能です。異なる国籍の JET-ALT を複数採用すれば、同じ英語圏でも各国で全く異なる世界の文化に直に触れることができ、子どもたちにとって、世界の多様性を実感する機会となることが期待されます。このような多国籍の JET-ALT の活用を既に始めている自治体もあります。

広島県福山市の事例

広島県福山市では、2017 年 9 月現在、20 人の JET-ALT を任用しており、その参加国には JET プログラムの英語圏招致国 12 カ国すべてが含まれています。福山市はこれまでも JET-ALT を活用してきましたが、2017 年度から新たに 9 人増員するのにあわせ、クリアが行う配置要望調査に対し、再任用予定者を含め、すべての英語圏招致国の JET-ALT が揃うことを最優先にしてほしい旨の要望を回答し、昨年度の参加 6 カ国から 12 カ国へと、多国籍な環境が実現しました。

広島県福山市の JET-ALT 20 人の参加国内訳	
アメリカ合衆国	6
英国、オーストラリア連邦、 <u>フィリピン共和国</u>	各 2
<u>ニュージーランド</u> 、 <u>カナダ</u> 、 <u>アイルランド</u> 、 <u>南アフリカ共和国</u> 、 <u>シンガポール共和国</u> 、 <u>ジャマイカ</u> 、 <u>バルバドス</u> 、 <u>トリニダード・トバゴ共和国</u>	各 1

※2017 年度から新たに下線の 9 カ国から各 1 人計 9 人を招致

これは、国際的視野を広げる機会を充実させ、世界の多様な伝統や文化、考え方を受け入れながら、コミュニ

ケーションを図ろうとする態度を培うことにより、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てるという福山市の外国語教育・国際理解教育推進方針によるものです。

20 人の JET-ALT は福山市内の 60 の小学校、34 の中学校および 1 つの中高一貫校で勤務しています。今後は派遣先の学校において外国語指導助手として活躍することはもちろん、関係機関・団体等と連携しながら国際交流事業や地域で開催される市民参加型国際交流イベント等への参加を通して、自国の文化を広める交流員としての役割も果たすことが大いに期待されます。



2017 年度から新たに福山市に任用された 9 カ国の 9 人の ALT

2018 年度新規招致にあたって

クリアでは現在、2018 年度（第 32 期）の英語圏 JET-ALT 新規招致者（7・8 月来日者）の配置要望調査を行っています（**要望締切：2018 年 1 月 29 日**）。任用団体からは要望事項として国籍を指定することが可能です。クリアでは、その他の要望項目や全団体間での調整をしながら最大限要望を満たすようにあっせんします。

2018 年度に JET-ALT の新規招致を考えている団体は、ぜひ多国籍からの招致の検討をしてみたいかがでしょうか。さまざまな国から来た JET-ALT と接することは、児童生徒の視野を広げ、世界に目を向けた子どもたちの育成につながるでしょう。

（注）フィリピン共和国は、英語を公用語とし、かつ、諸外国への英語教師の派遣実績があり、英語能力が世界的にも高い評価を得ていることから、2014 年度から英語圏への移行に向けて調整を図っています。なお、移行に当たっては、選考において慎重かつ厳格な英語能力の審査が行われるよう徹底することを前提としています。